

高麗  
 物  
 三十九  
 角

^ 13  
 3162  
 15



志らぬひ譚

上 廿

九編  
の巻

柳下亭種員作



梅蝶樓國貞畫



廣岡屋梓



志らぬひ

志らぬひ

申 春



國貞画

廿九編

廣岡屋版

志乃絶  
 賀乃絶  
 菊季



廿九編下

國

眞畫



廿九編上

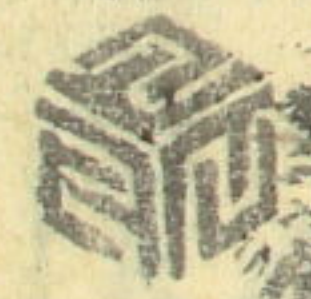
不家  
 負作

廣園登梓橋

外題曲丘國也

一  
 始むれば終むる故に生者必滅といへむ北州の千年も種花一日あるも無量  
 壽佛といふ如來有らば凡夫も合點のものと今流行の合巻繪草紙も始ありて  
 終るまでと枯るなればめでたう早く結ぶ當時の習俗此白縫も繪と彫と  
 製本の美のが評判となり作者も命小換るやど骨と惜中ぬる有て  
 彼無量壽小算られ當分滅多ふめてはなすぬ嬉し長命多  
 壽かゝる御願負の手前でも懶惰られぬ夜を日小はぎ  
 寝る間も種と種本と少かかず積蓄おけり及やく今戸の畑ハ  
 たぬ日有とも隅田堤花櫻材小刊しむる無量壽ありと  
 安心を決め悠々貴觀を希ふよらん

亭号ハ画小のさせ種員敬白



門へ 13  
 3162  
 15



梅  
 園  
 花  
 種  
 員  
 敬  
 白

梅  
 園  
 花  
 種  
 員  
 敬  
 白



梅  
 園  
 花  
 種  
 員  
 敬  
 白



菊池壁妻英浦

初名  
英浦  
壁妻  
菊池  
馬  
いふ



青柳春之助年正

紅葉院現住安養

四十四



Vertical text columns on the right page, including a title '廿八' at the top and a label '左' on the right side. The text is in kuzushiji script.

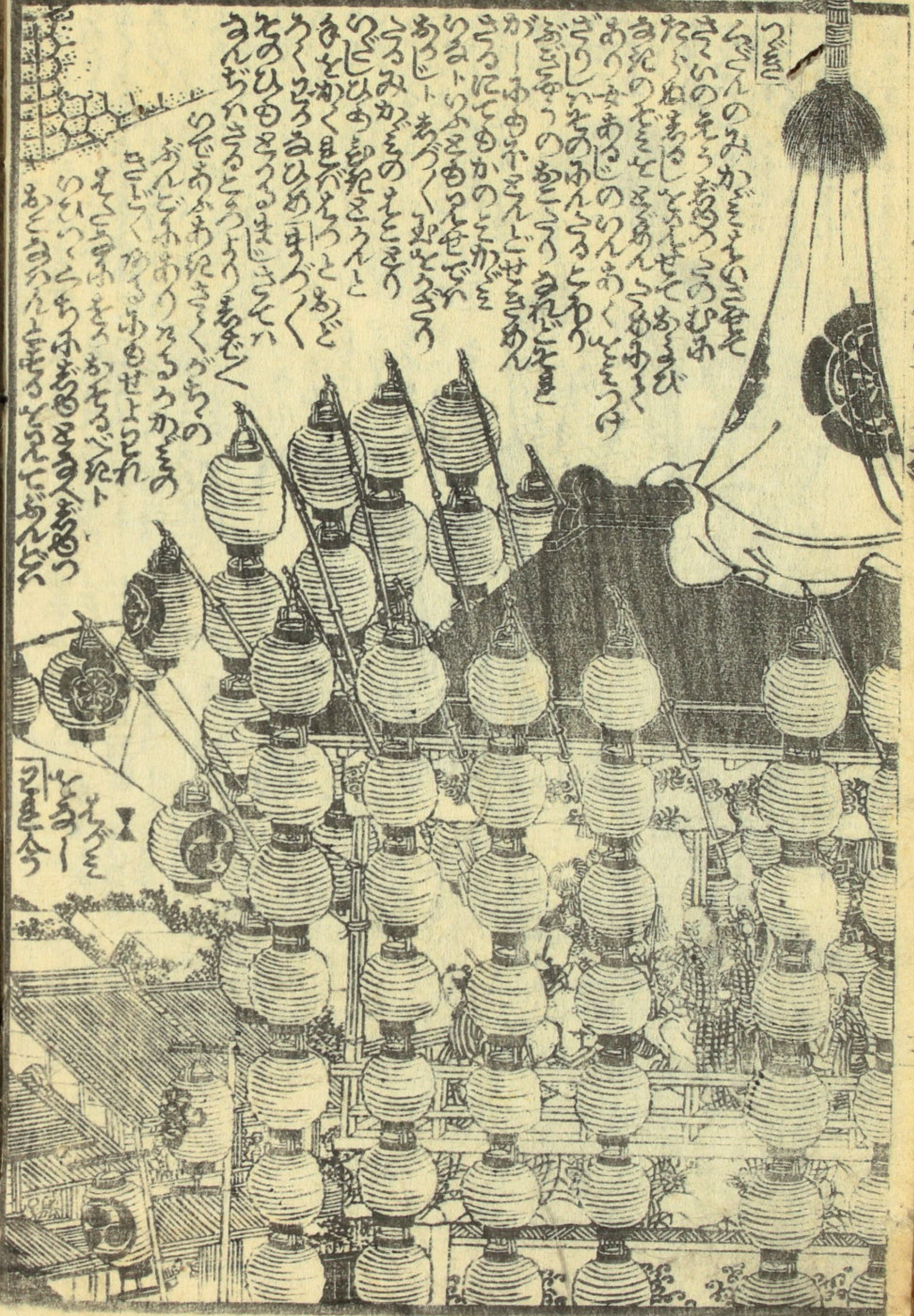


Vertical text columns on the left page, including a title '廿九' at the top and a label '右' on the left side. The text is in kuzushiji script.

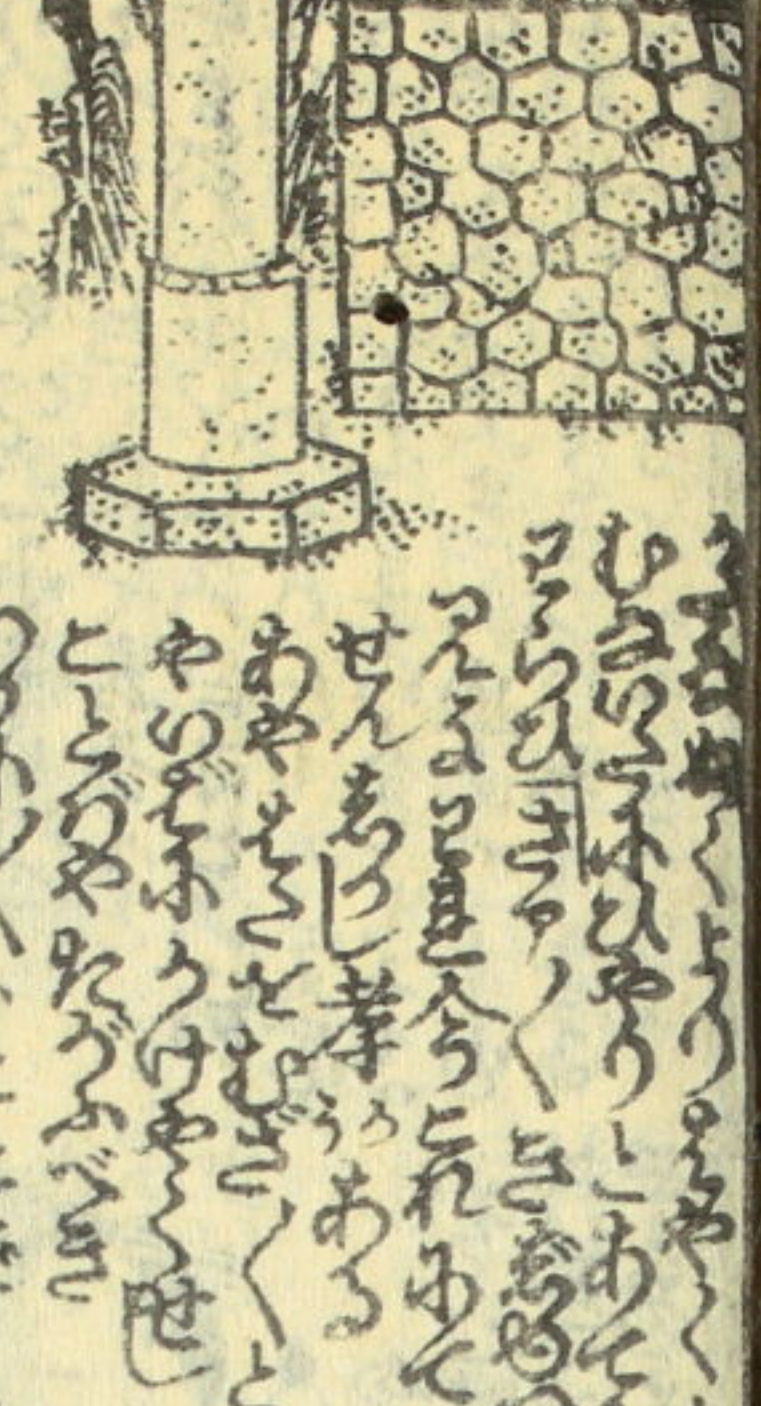
いしやぶに十九

くさみ

らんどのみかまやのちかやそ  
 さののちをうらたのちのちか  
 たかやまはしやをせめてあま  
 さのちかやをせめてあまのち  
 ありあまのちのちかやをせ  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち



らんどのみかまやのちかやそ  
 さののちをうらたのちのちか  
 たかやまはしやをせめてあま  
 さのちかやをせめてあまのち  
 ありあまのちのちかやをせ  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち  
 さいのちかやをせめてあまのち

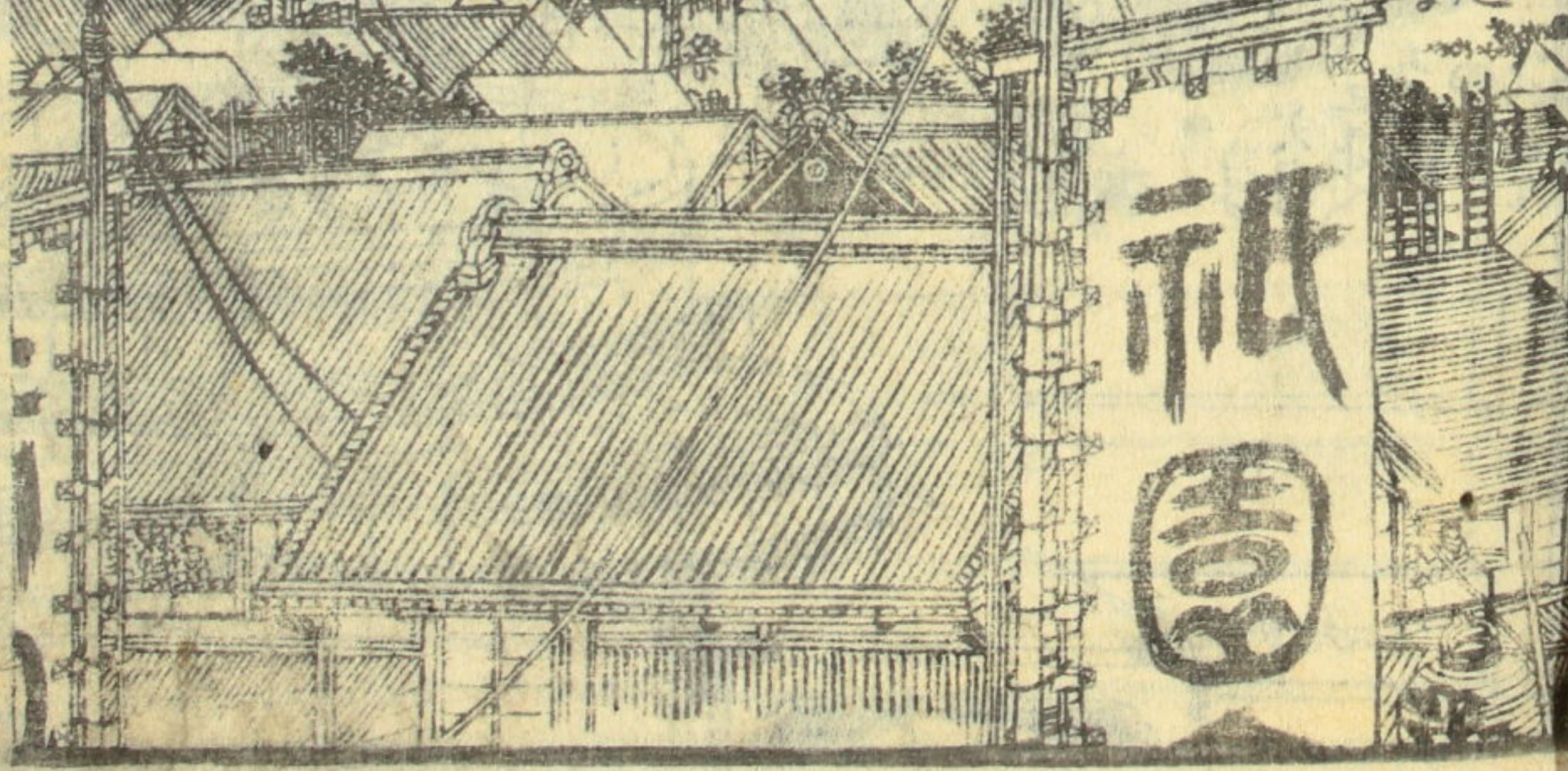
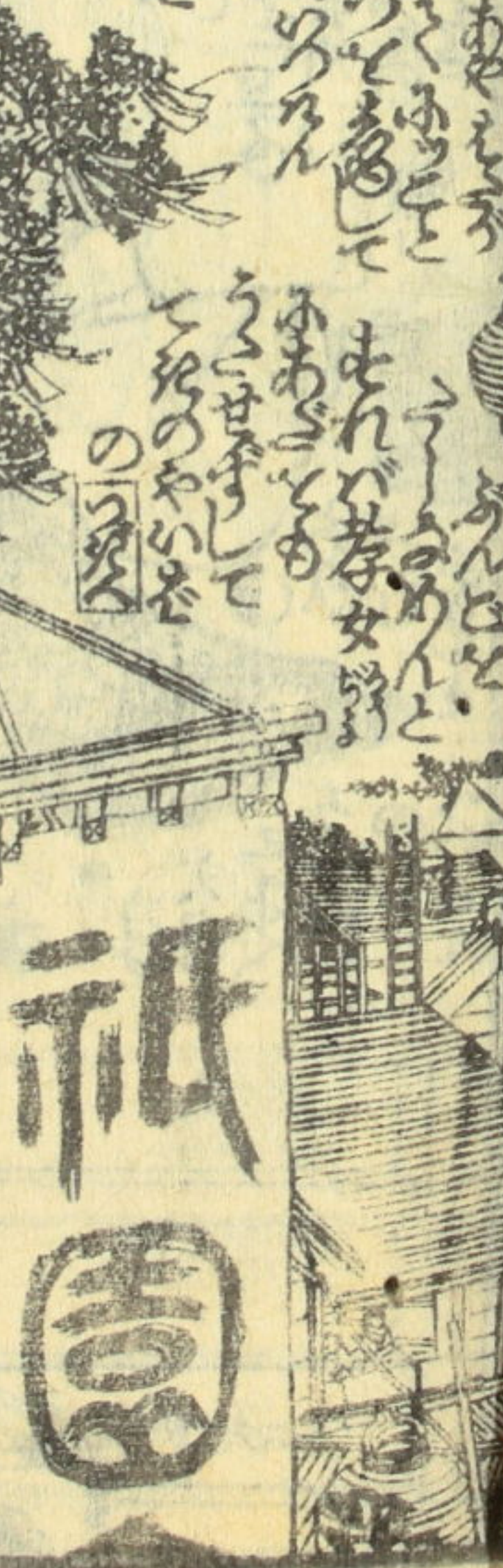


小文次



綾の戸

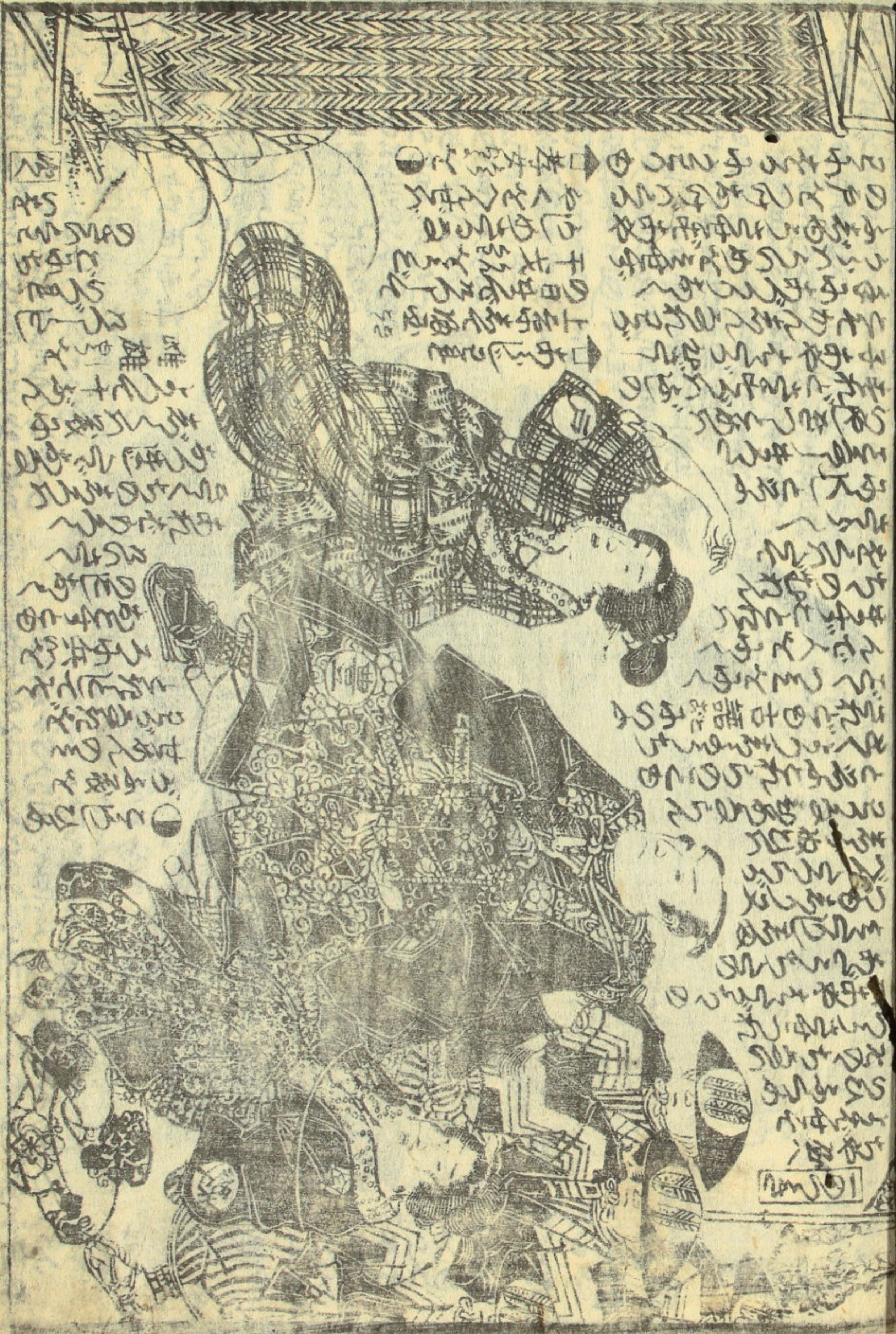
博多町の祇園會  
 六月十五日ふあり  
 山鉾の大きさ  
 京都の小四倍まより  
 甲曹の木偶ありて  
 城中諸士の武具を  
 着用させ  
 壯觀あり  
 壮観ありの  
 壯観ありの  
 壯観ありの



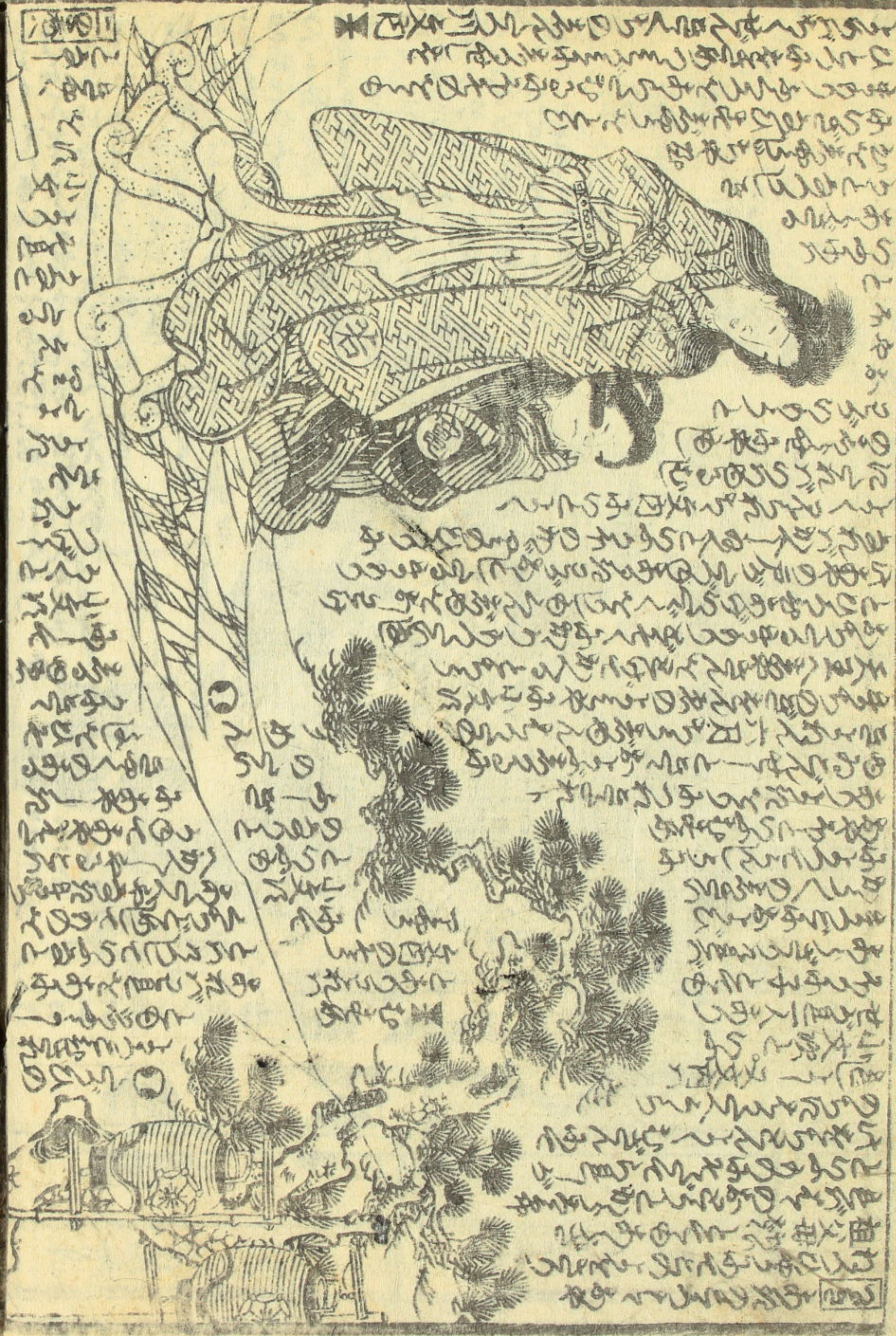
まつり入士九編







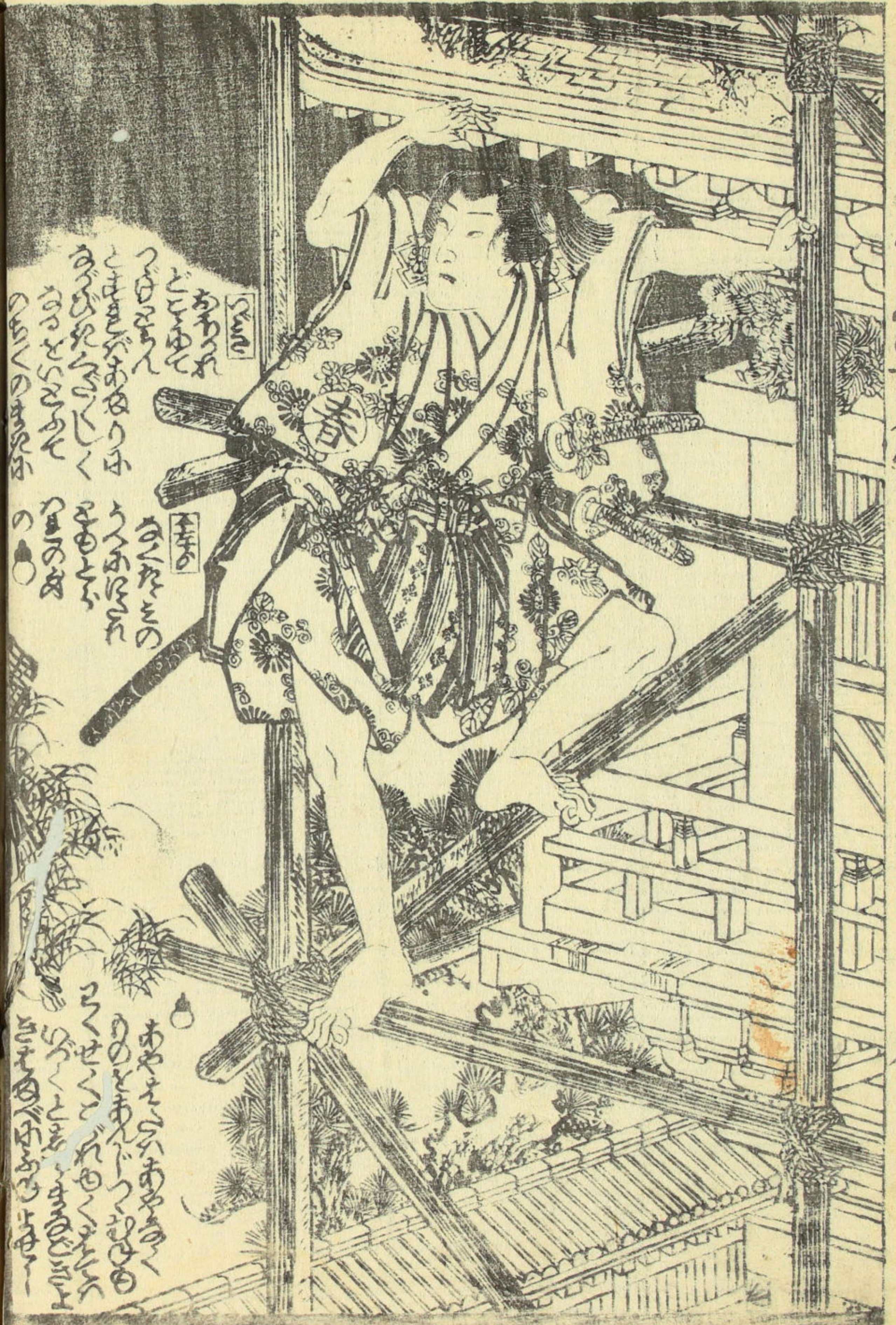
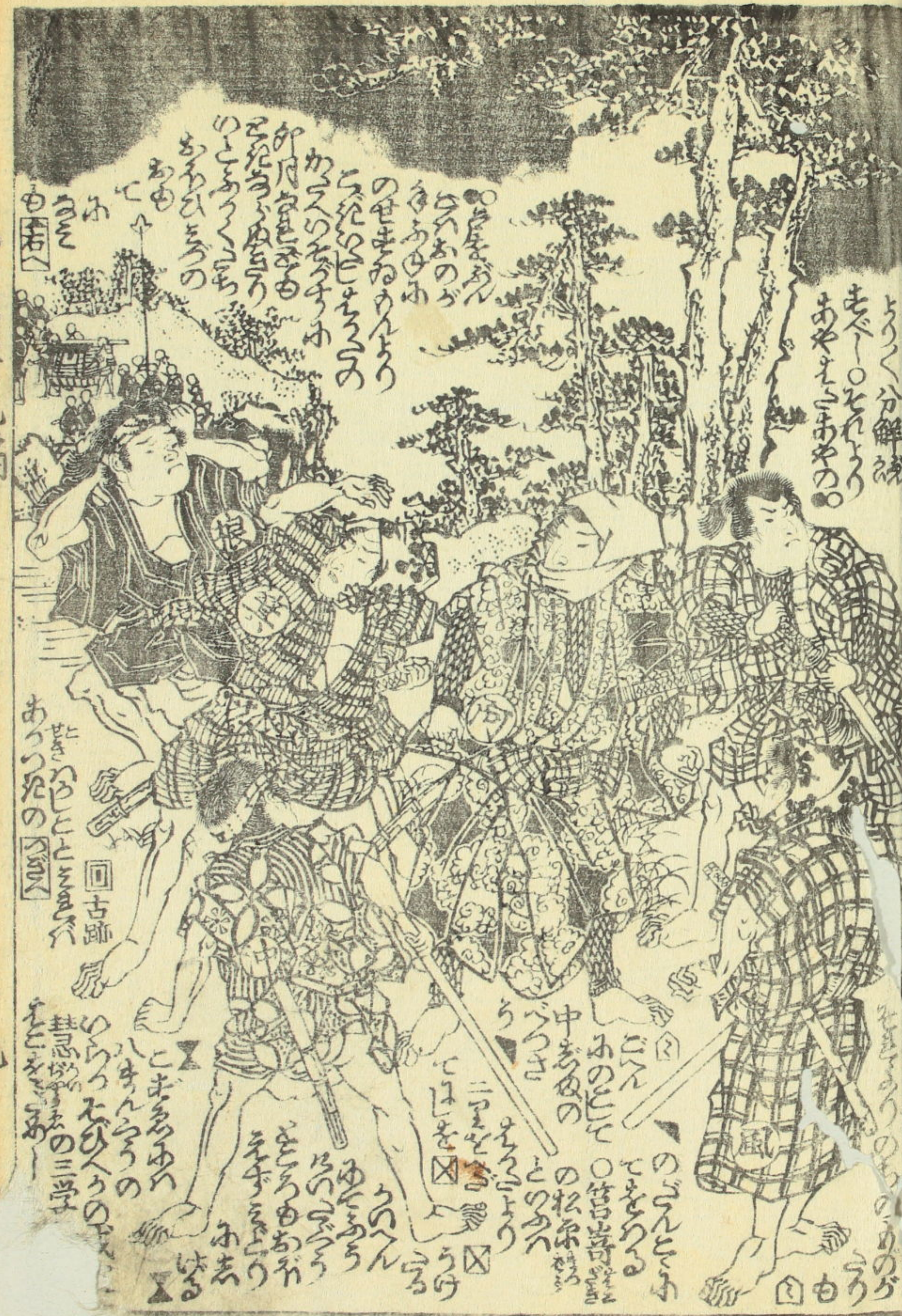
卷之九



卷之九







巻之廿八終



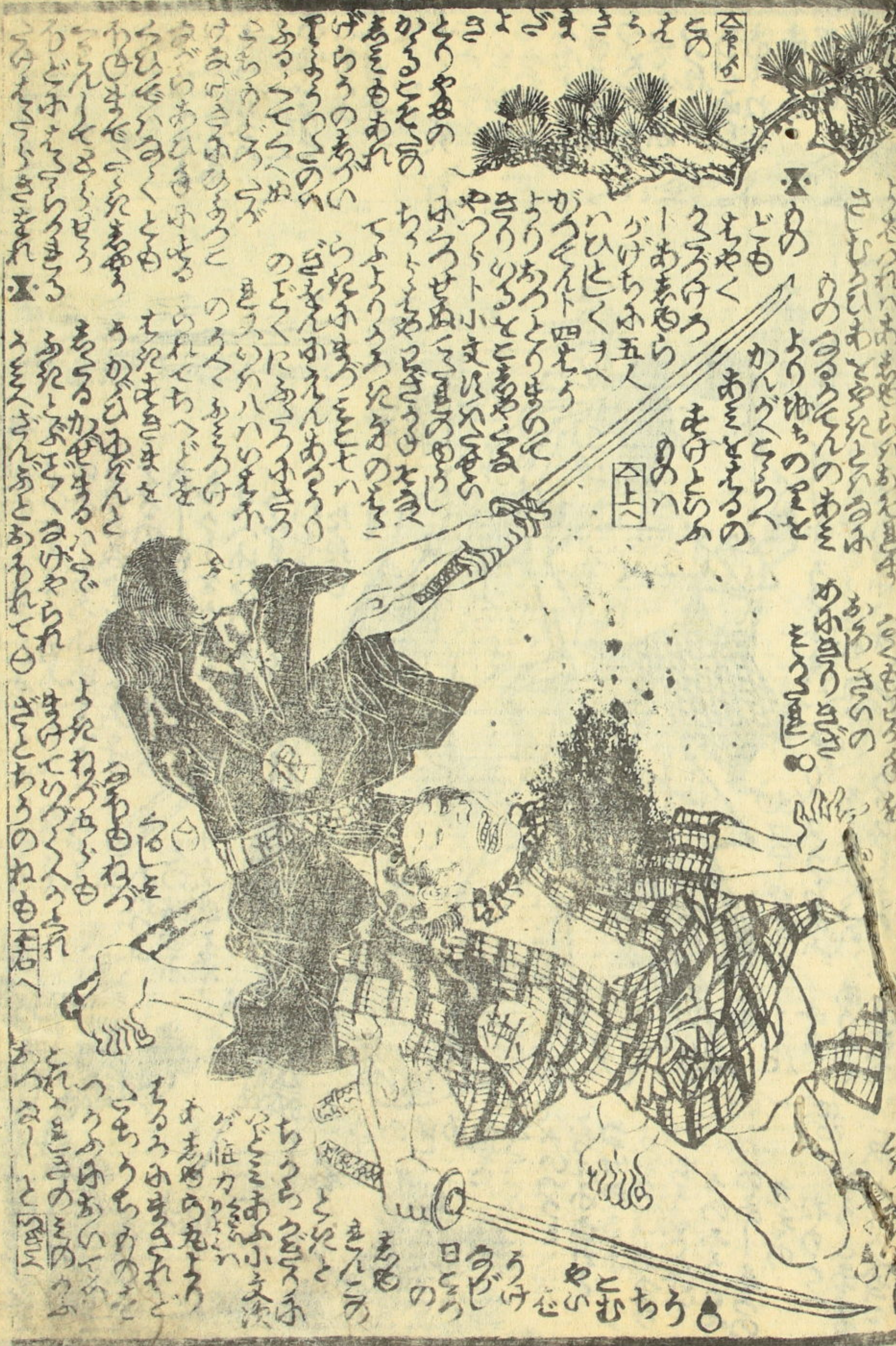




あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす  
よりの  
あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす

あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす  
よりの  
あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす

あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす  
よりの  
あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす



あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす  
よりの  
あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす

あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす  
よりの  
あまを  
めいせいの  
ことゆきの  
あらわす

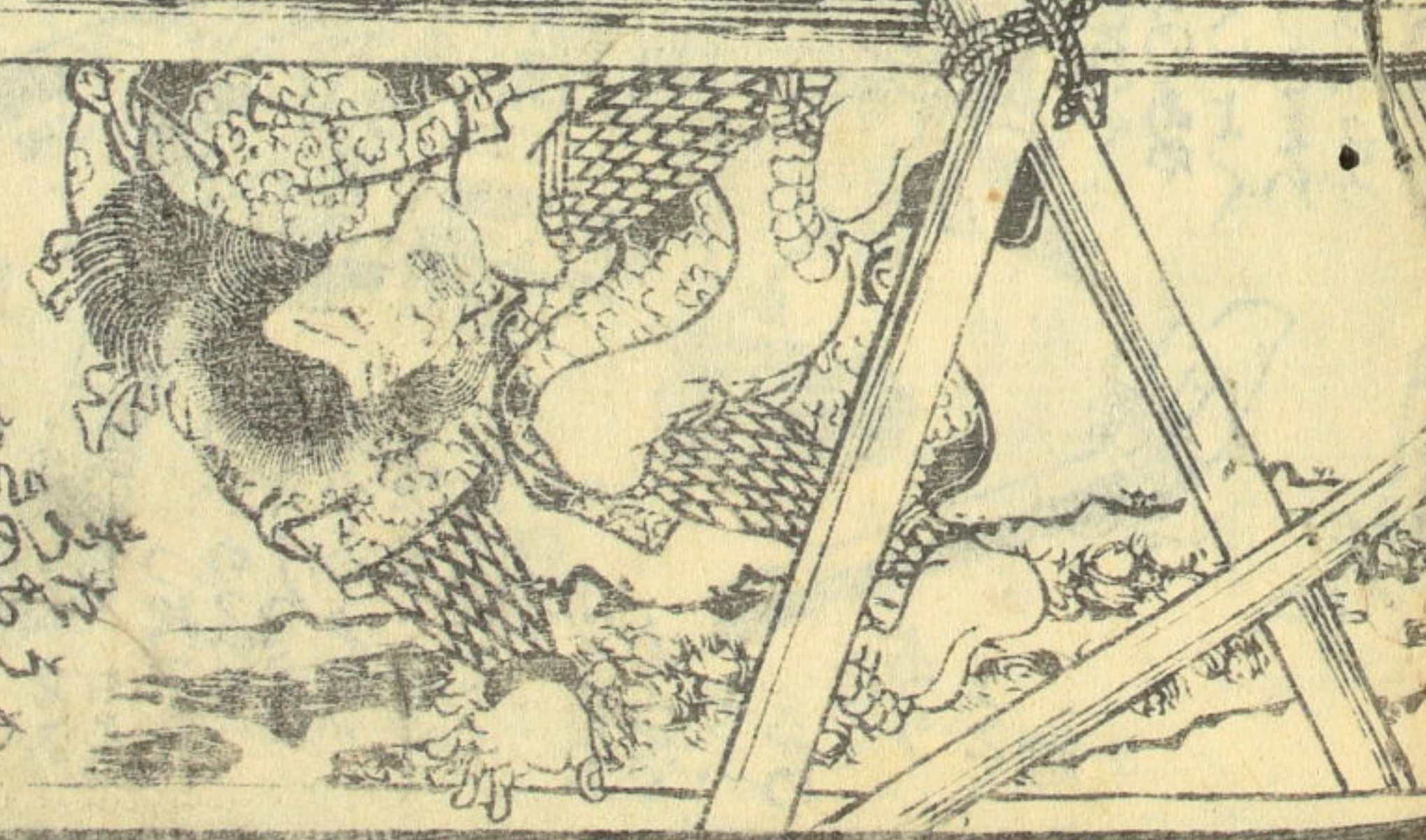




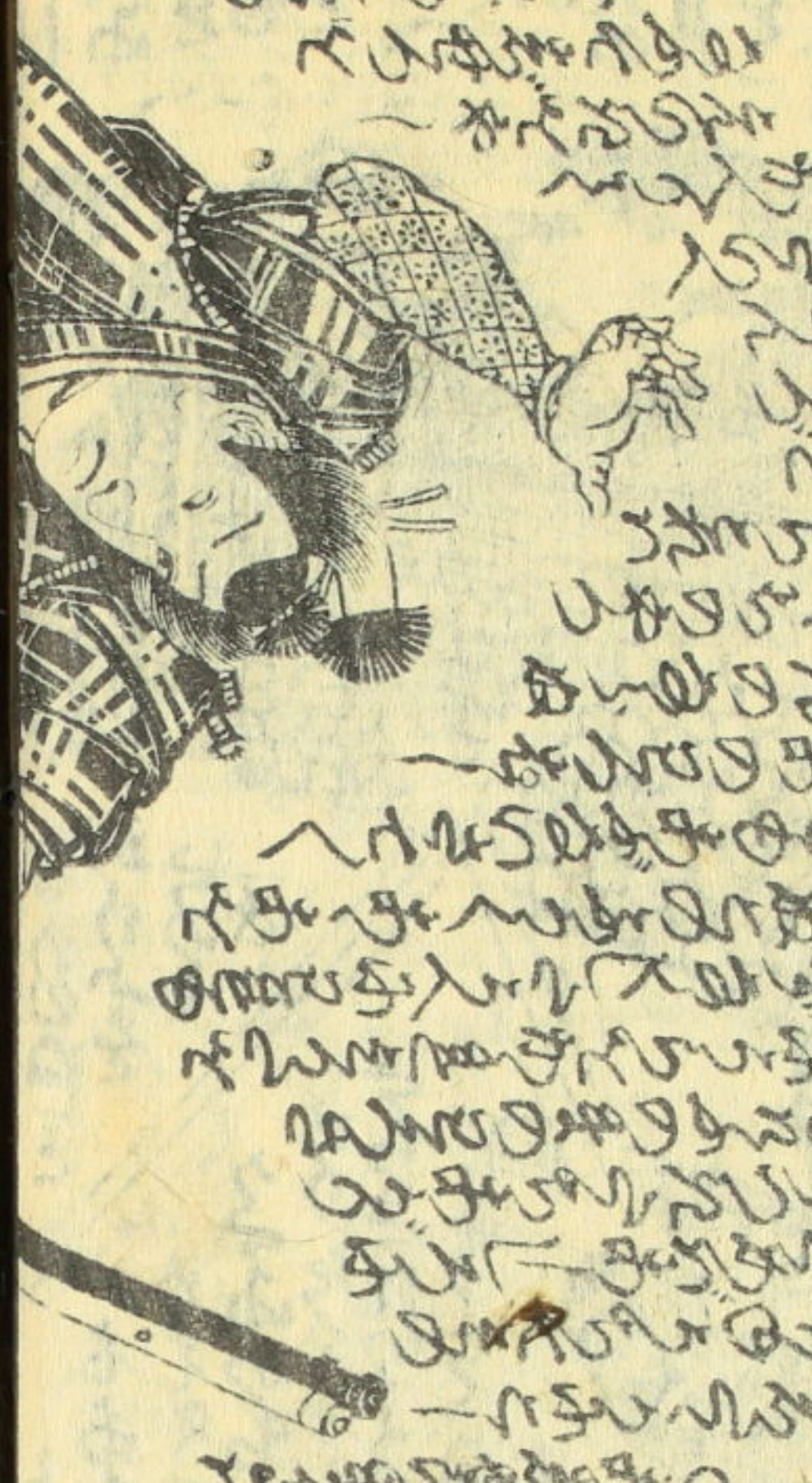
Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese kana, arranged in vertical columns on the left side of the page.



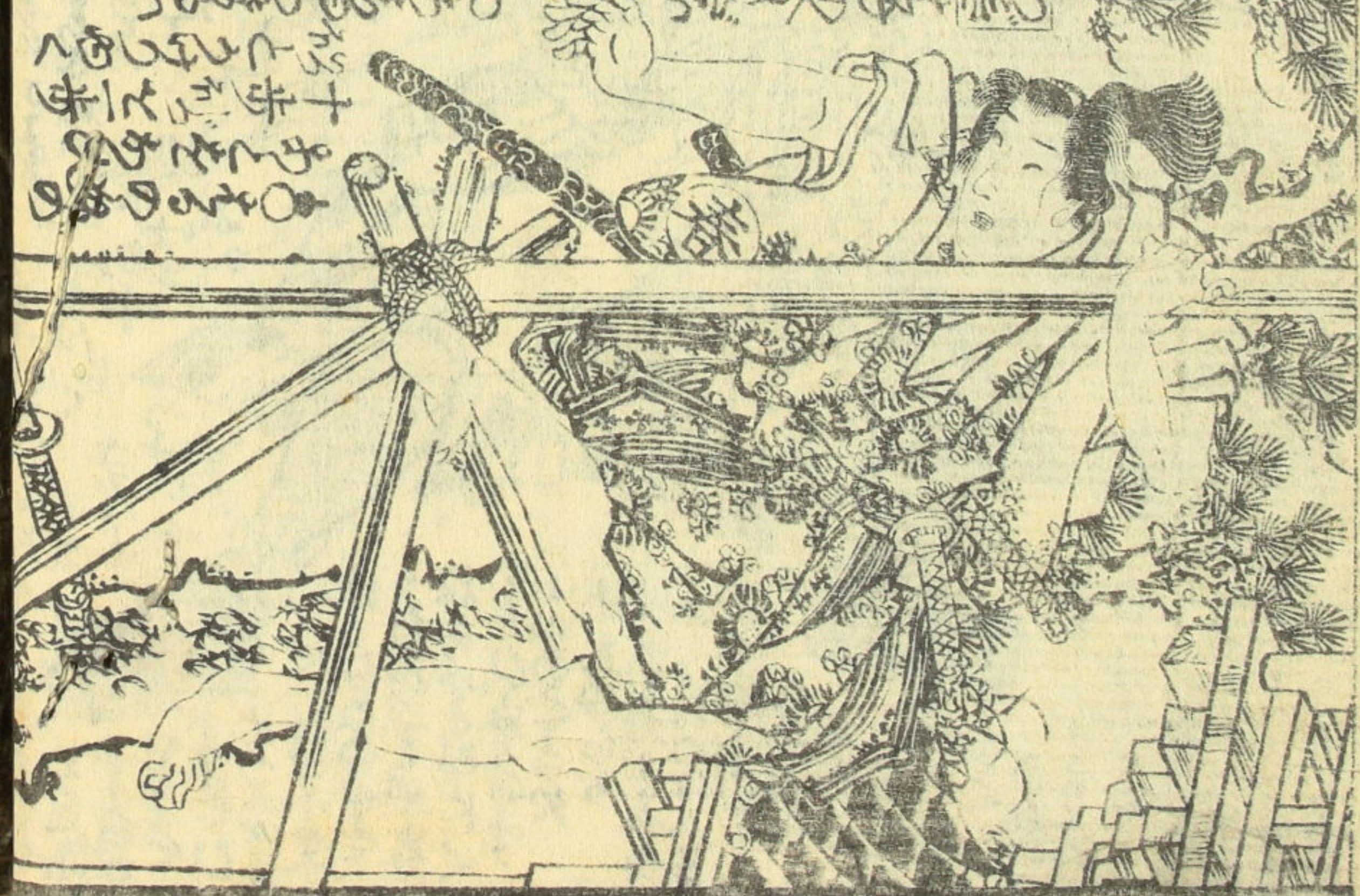
Handwritten text in a cursive script, continuing from the left page, located in the lower section of the page.



Handwritten text in a cursive script, arranged in vertical columns on the right side of the page.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the right page, located in the lower section of the page.





うららかに春の風を吹かす  
 春の風を吹かす  
 うららかに春の風を吹かす

あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ

まのくを  
 まのくを  
 まのくを

あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ



あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ

あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ

あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ

あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ  
 あつらひきのかはあつらひ

あつらひきのかはあつらひ

十五

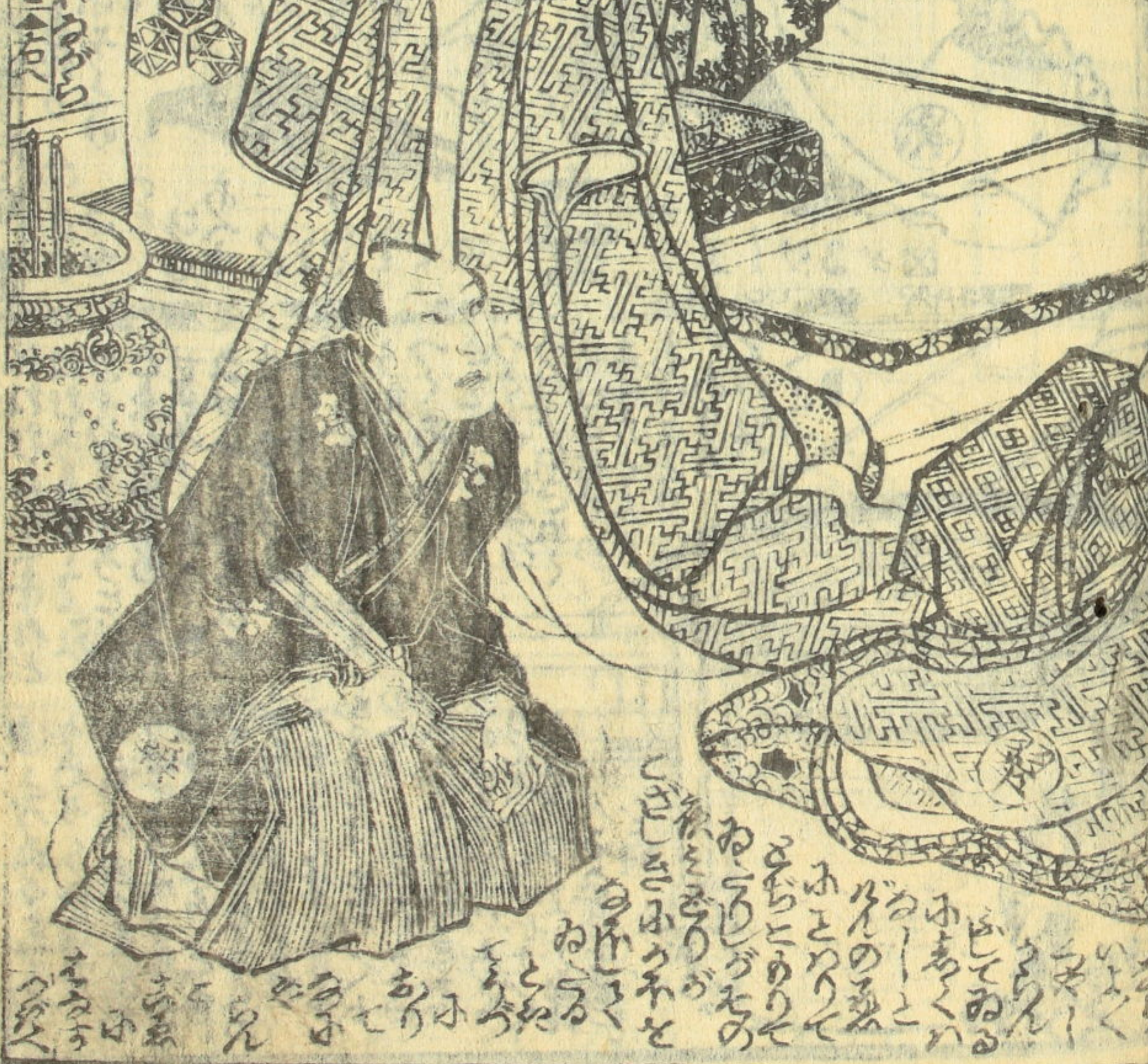
あつらひきのかはあつらひ

四



又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの

又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの



又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの

又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの

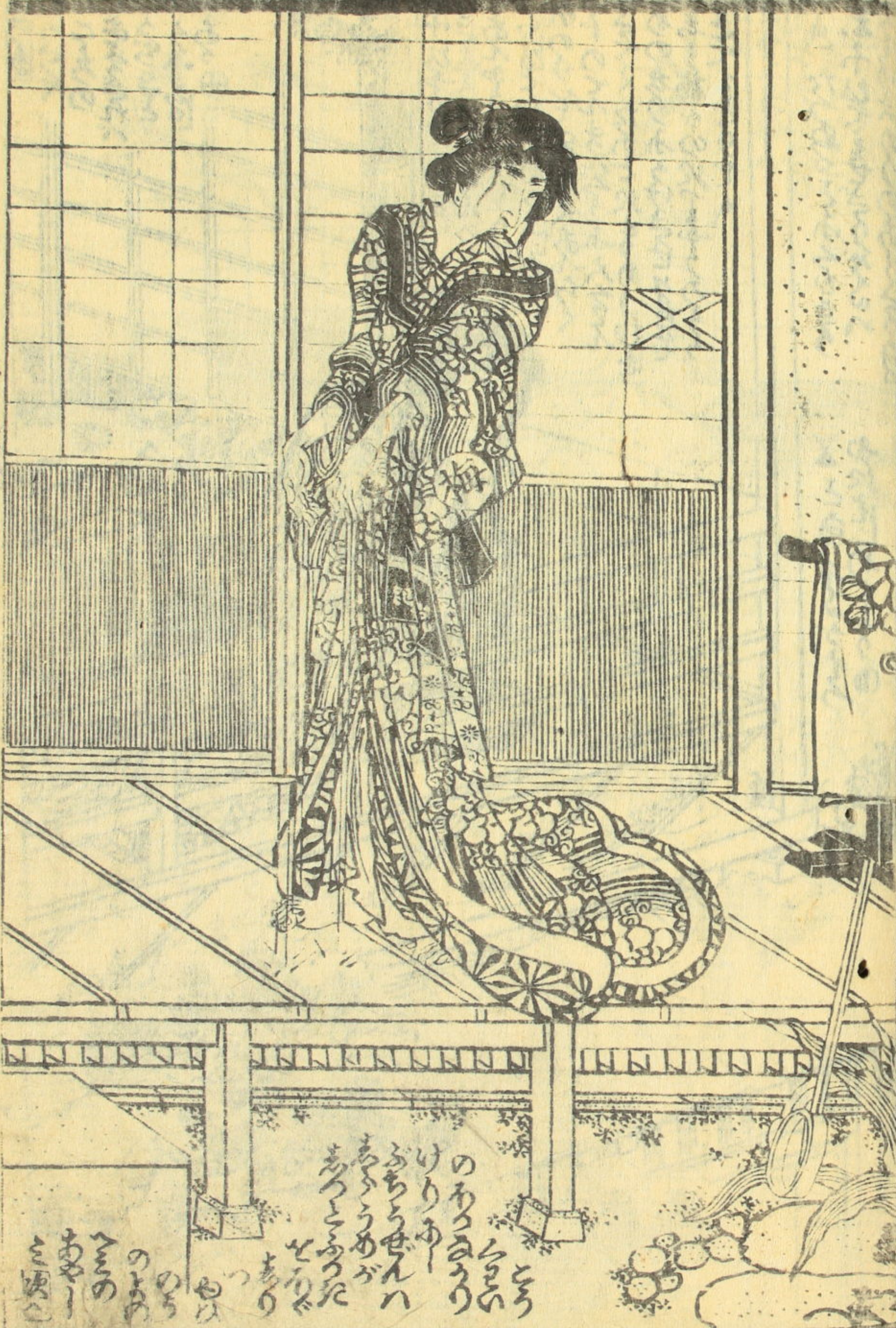
又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの



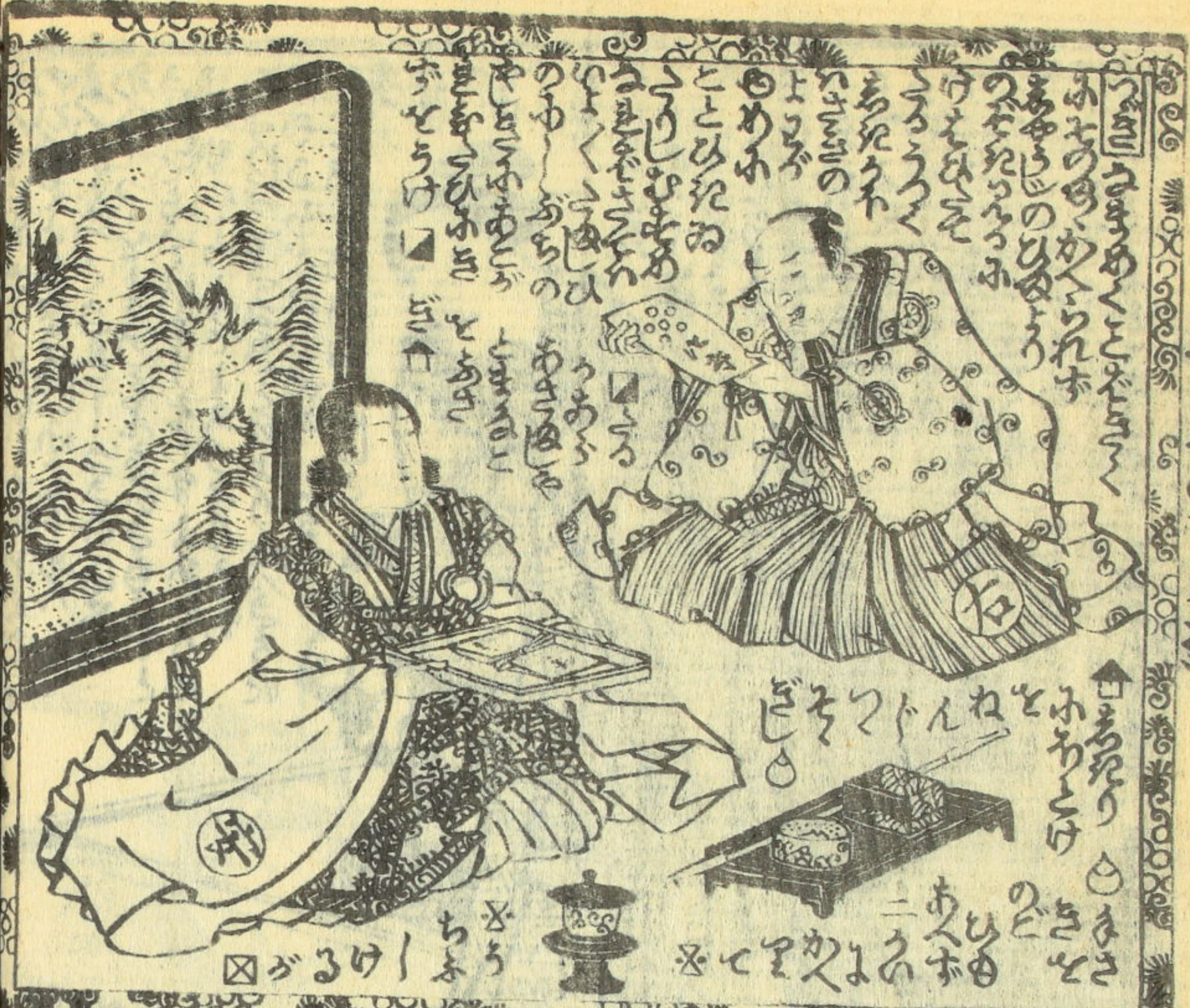
又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの

又あし  
 宗大夫  
 さけとま  
 りあけ  
 ゆうち  
 こちち  
 日あり  
 はんの

あぢいぢい入仕乙女



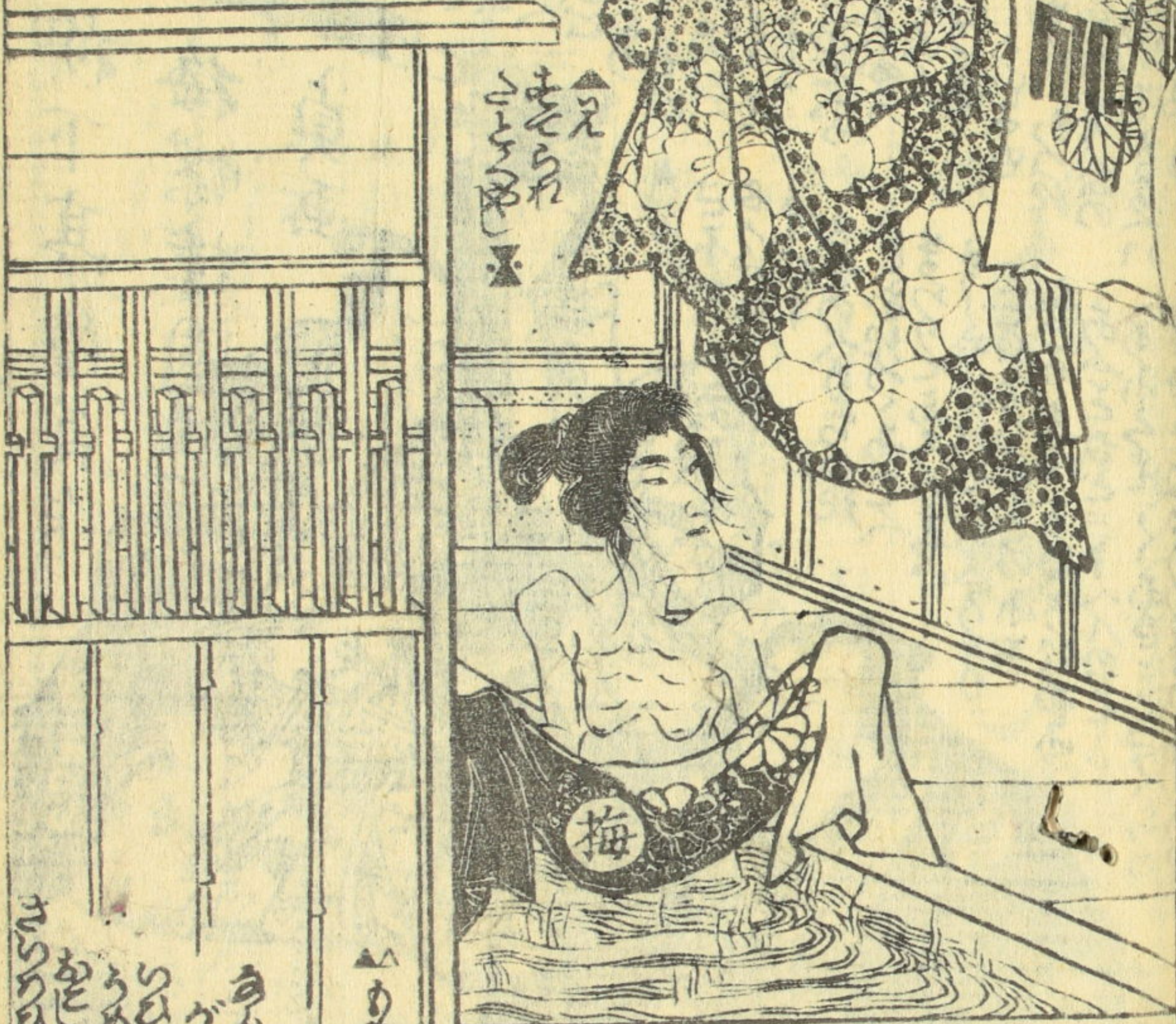
さう  
のちのち  
あぢいぢい  
入仕乙女



わねねらん  
まぶらふ  
さうめい  
うぢのち  
うぢのち  
うぢのち

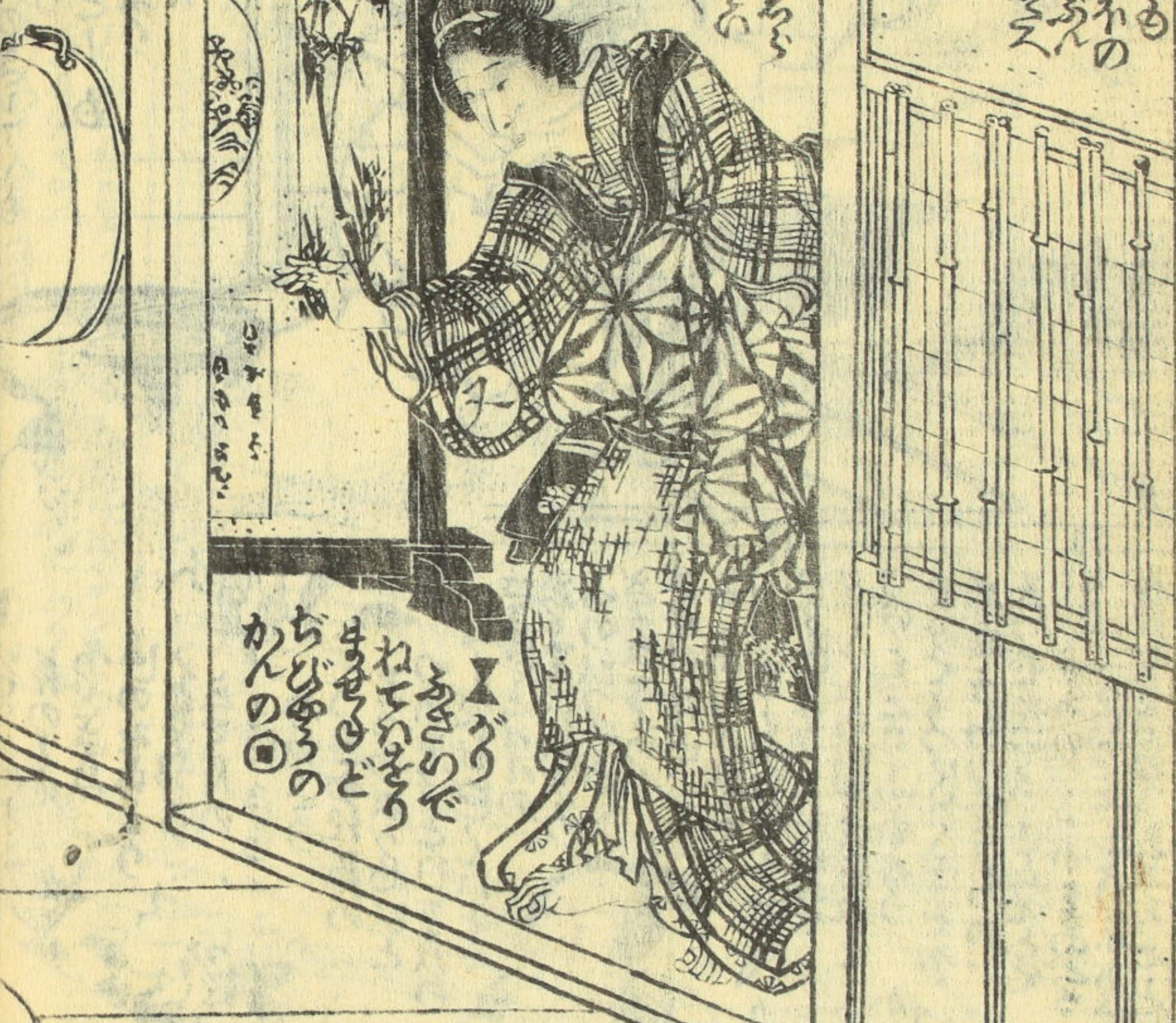


合のそ  
 あらうあ  
 あつこと  
 あむらち  
 のいもの  
 じろげあ  
 ことごとけ  
 てのいん  
 てのいんぞ  
 こまうあ  
 あつあつ  
 ことごとけ  
 ことごとけ  
 ことごとけ



合のそ  
 あらうあ  
 あつこと  
 あむらち  
 のいもの  
 じろげあ  
 ことごとけ  
 てのいん  
 てのいんぞ  
 こまうあ  
 あつあつ  
 ことごとけ  
 ことごとけ  
 ことごとけ

合のそ  
 あらうあ  
 あつこと  
 あむらち  
 のいもの  
 じろげあ  
 ことごとけ  
 てのいん  
 てのいんぞ  
 こまうあ  
 あつあつ  
 ことごとけ  
 ことごとけ  
 ことごとけ



合のそ  
 あらうあ  
 あつこと  
 あむらち  
 のいもの  
 じろげあ  
 ことごとけ  
 てのいん  
 てのいんぞ  
 こまうあ  
 あつあつ  
 ことごとけ  
 ことごとけ  
 ことごとけ

柳下亭種員作

梅蝶樓國

貞画



三十編小

三笠山上坂

備書  
交來

癸亥新目録

七草四郎

若菜姫

あゝ思ひ禪

四十編 柳亭  
四十一編 種彦作  
四十二編 一惠齋  
芳幾重

柳春秋色櫻

初編 山々亭 有人作  
二編 一惠齋 芳幾重

地本草紙問屋

板元

廣岡屋幸助

新製

花栲香

古北栲香

志形く

おの

のこもせ

志形く

おの

のこもせ

志形く

おの

のこもせ

志形く









博多  
 小女  
 正時  
 博多  
 小女  
 正時

博多

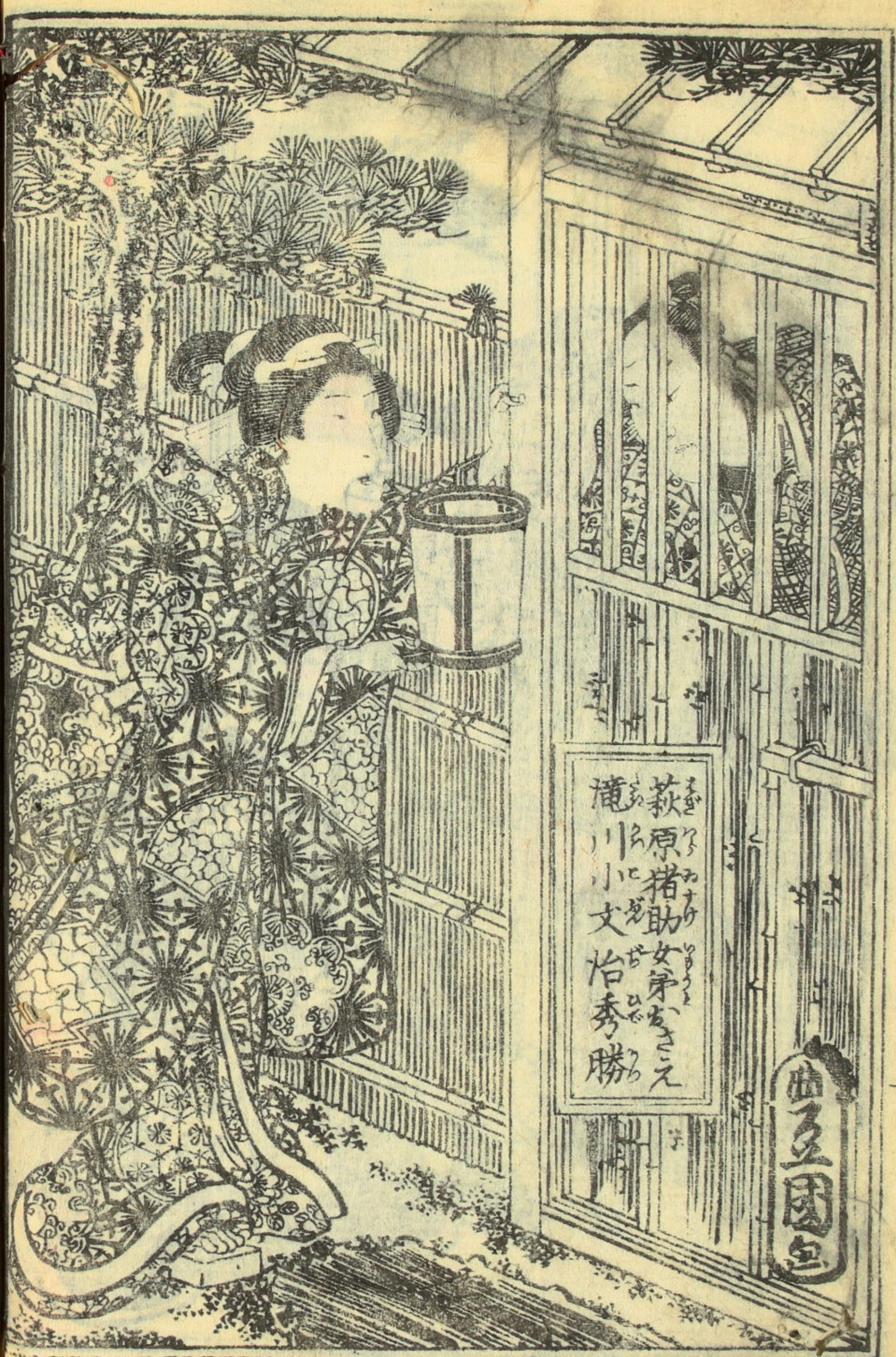
博多  
 小女  
 正時



博多

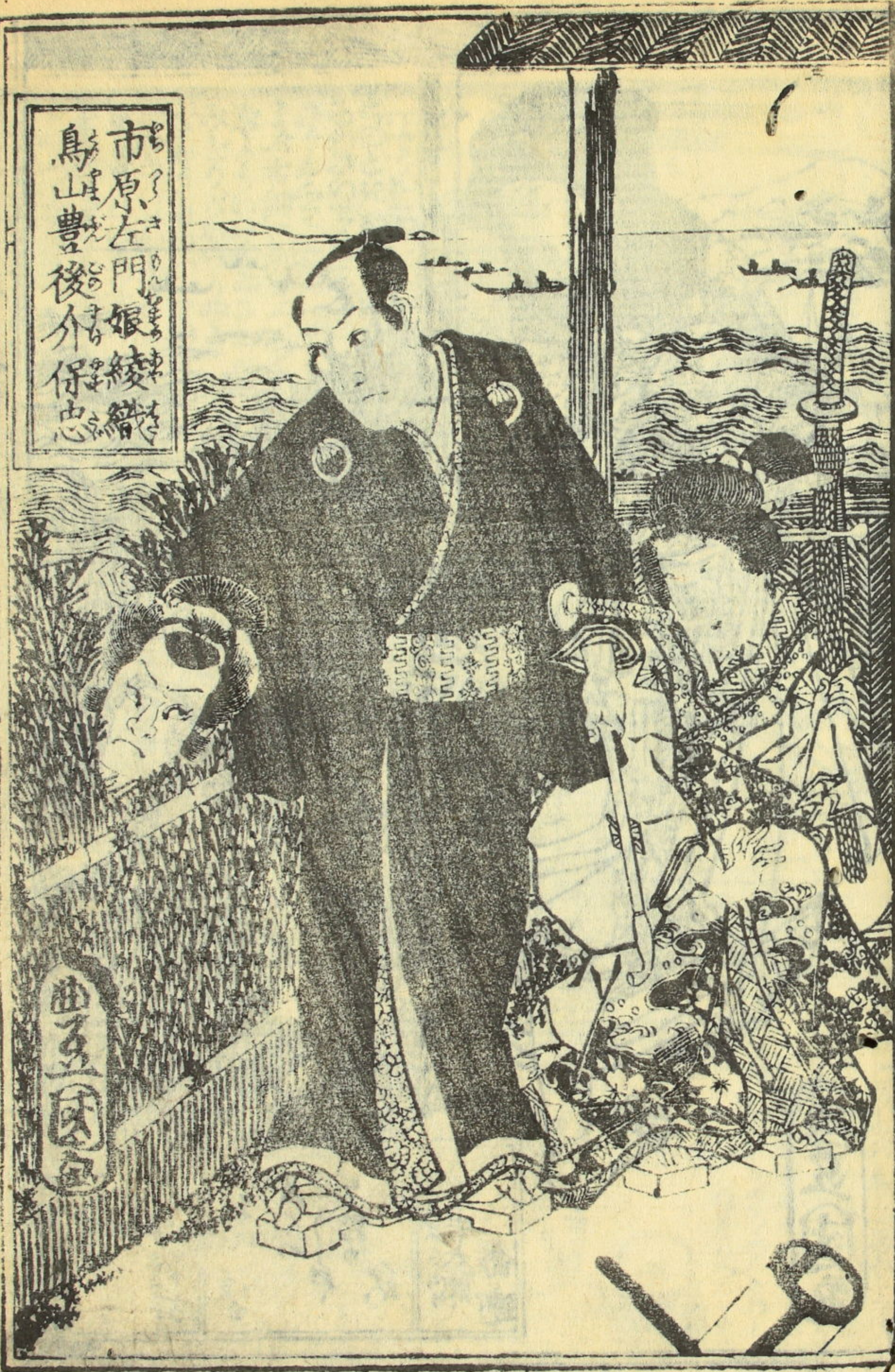
三拾編上

廣幸  
 文庫



山崎屋人三十四  
山崎屋人三十五  
山崎屋人三十六  
山崎屋人三十七  
山崎屋人三十八  
山崎屋人三十九  
山崎屋人四十  
山崎屋人四十一  
山崎屋人四十二  
山崎屋人四十三  
山崎屋人四十四  
山崎屋人四十五  
山崎屋人四十六  
山崎屋人四十七  
山崎屋人四十八  
山崎屋人四十九  
山崎屋人五十

山崎屋人三十四



市原左門娘綾織  
鳥山豊後介保忠

曲五因

歌人の居る名所を知り諸國を巡つて来る程  
 戯作者となるものも後地理を疎くして来る  
 中物の本書綴り自他への習俗を錯誤し  
 番毎なる一守藝の宮島の周り長明の海上を遙  
 隔て遠く葦原の如く手輕くはる塔の噂は阿弥陀寺  
 五層の宝塔涌出するも皆是理外の寓言を株と守らぬ兔の前脚に知さず  
 地書るに調て無益骨折する趣向の新意を枕と碎き中ら出る胡桃の膏つやある  
 文章を作まれば然らば去頃一雲願より筑前の續風土記を食ひ厚意を感  
 づれば發明もこの少くぬふらるる隣國豊後の話も移ると其地書左右ふあ  
 るなねばその全備せぬと看破る顧びかき六次編の韓泊豊後介隠家辺も  
 其名計のが啞むる名所方角抄を歌咏するも覺束る風景の讀するなり

庚申新春

柳下亭種員記





玉堂 和尚  
 草書 堂の大字  
 玉堂 和尚  
 草書 堂の大字  
 玉堂 和尚  
 草書 堂の大字

玉堂 和尚  
 草書 堂の大字  
 玉堂 和尚  
 草書 堂の大字

玉堂 和尚  
 草書 堂の大字  
 玉堂 和尚  
 草書 堂の大字

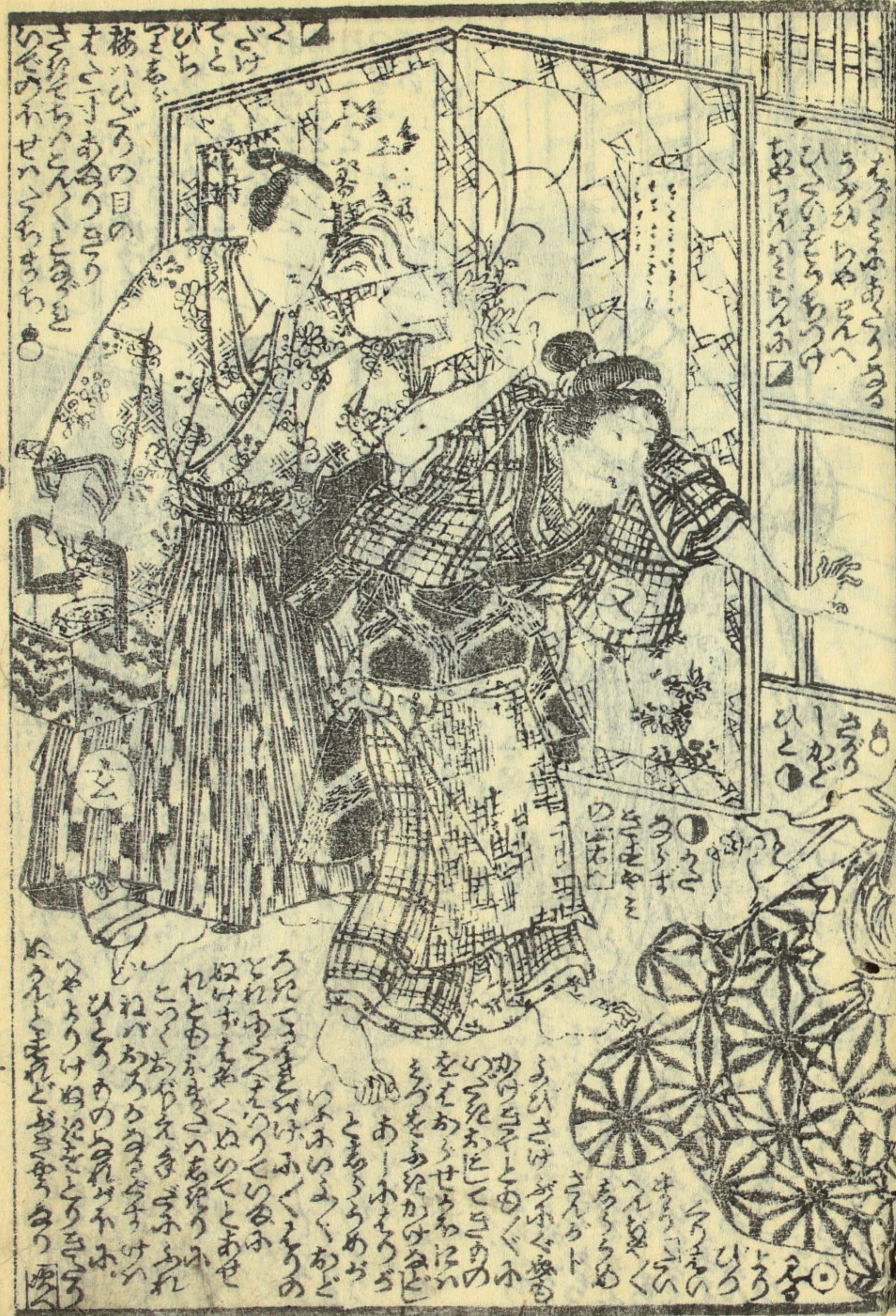
玉堂 和尚  
 草書 堂の大字  
 玉堂 和尚  
 草書 堂の大字



大友岩太郎  
 喬連

大友岩太郎  
 喬連  
 大友岩太郎  
 喬連

大友岩太郎  
 喬連







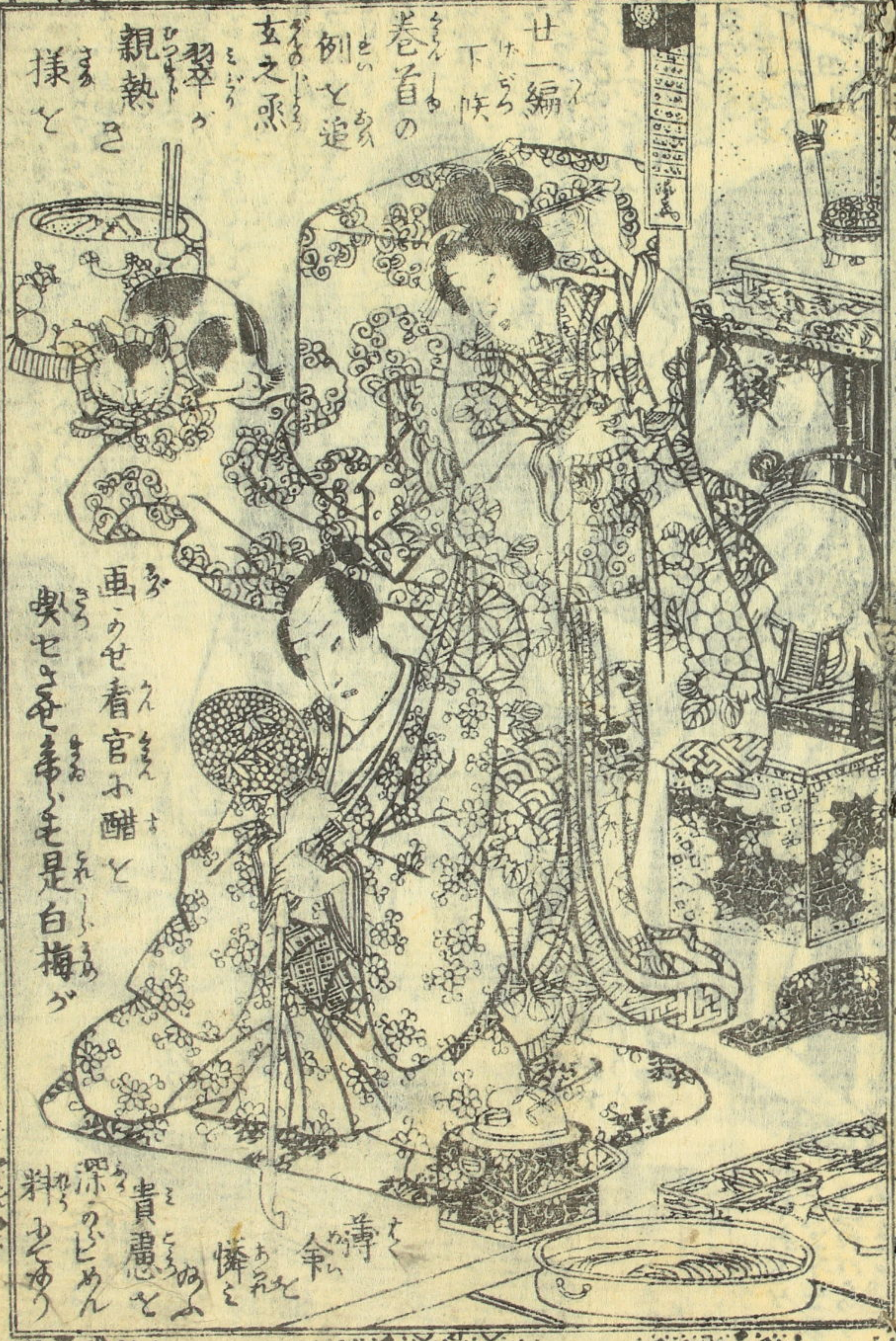








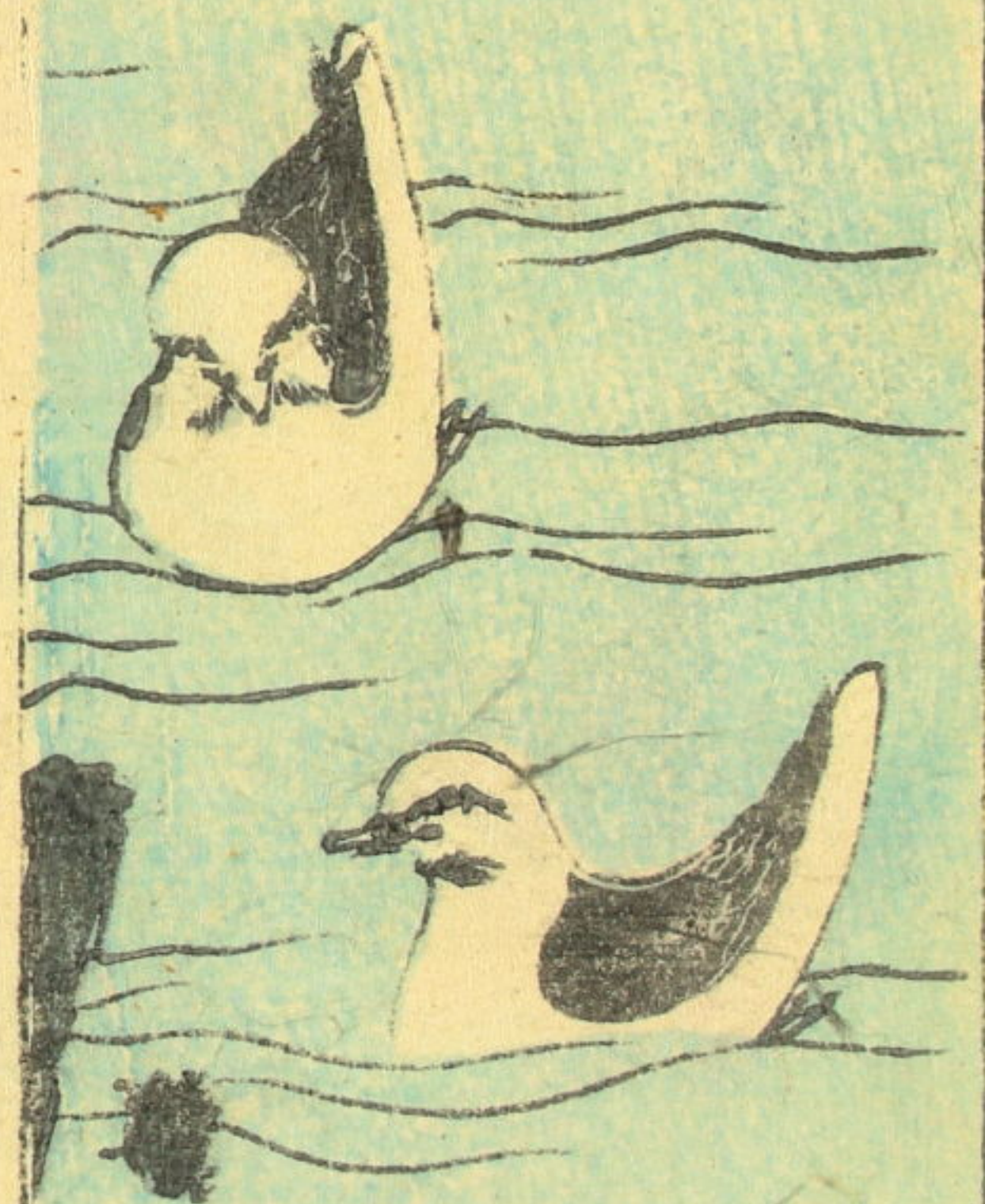




別製  
きりりた

志、海、の、ころ  
二十編下の巻  
ねえ  
廣幸

一寸の板あかりの目回その人終りきとは  
群の介の意をよめひはたこしひのりひのり  
程又精製は名流のちのりの後をよめ  
海原よりか  
日たをよめ  
鶴花亭

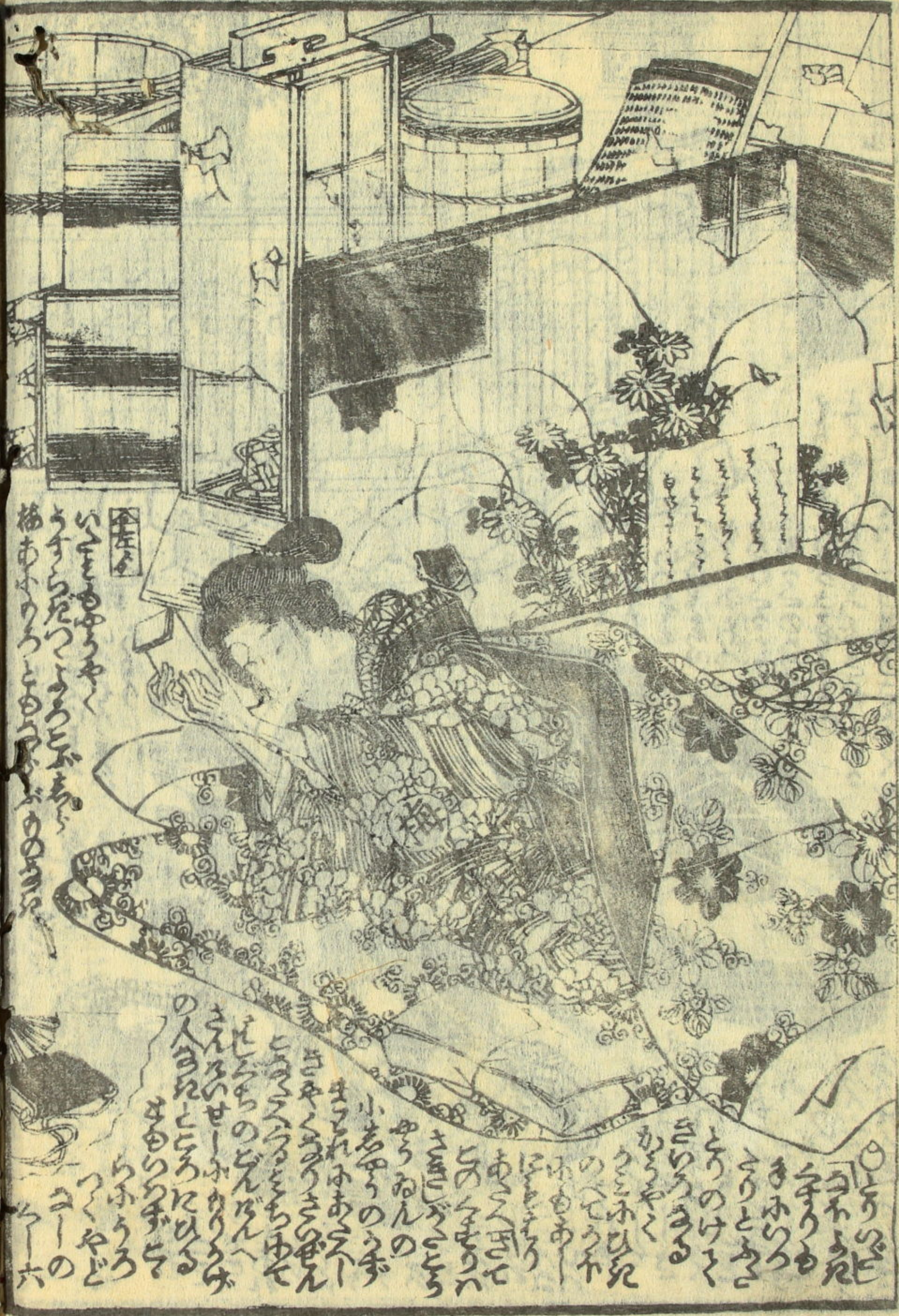








Vertical text on the left margin of the first page.

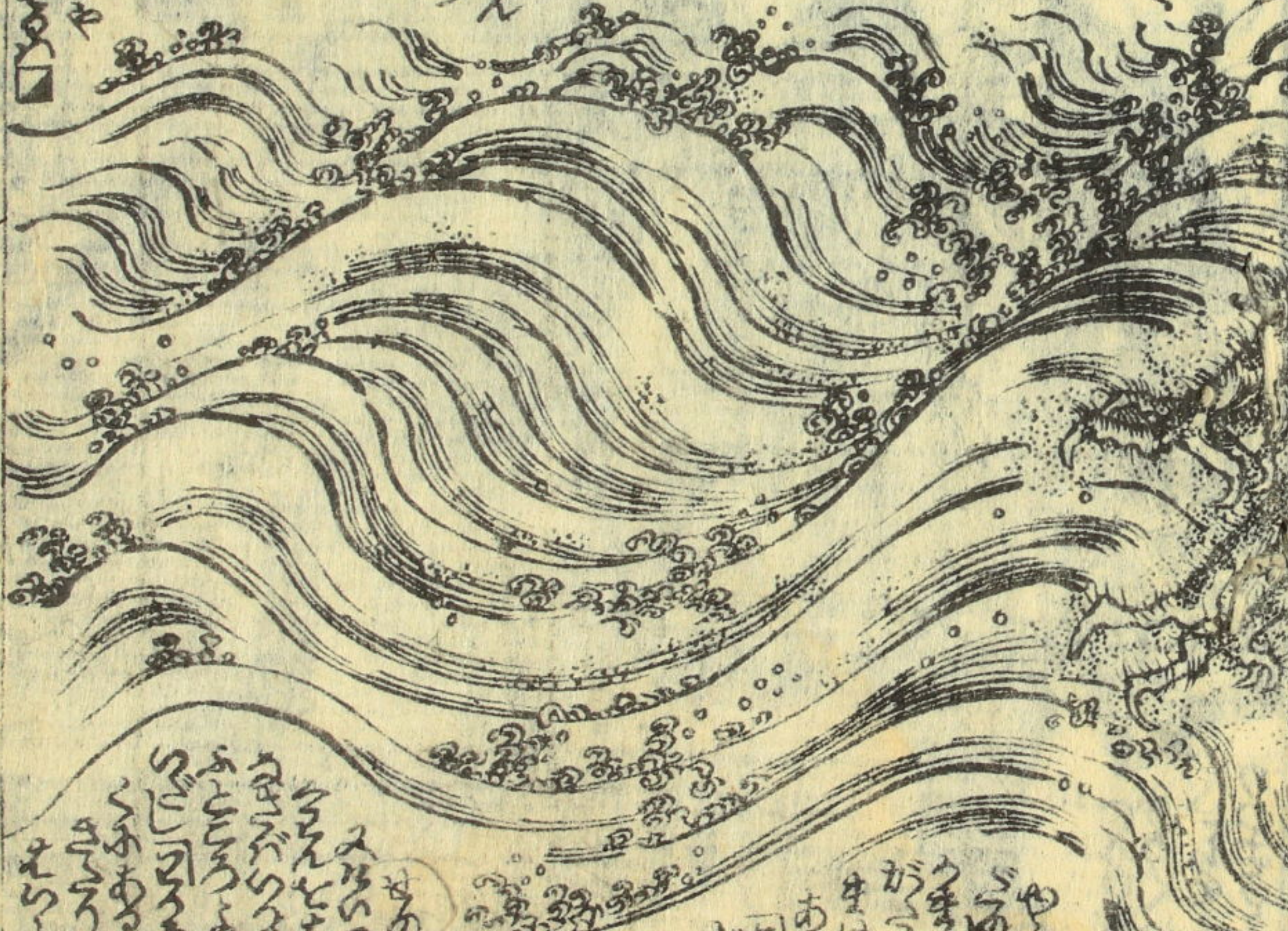


Vertical text on the right margin of the second page.



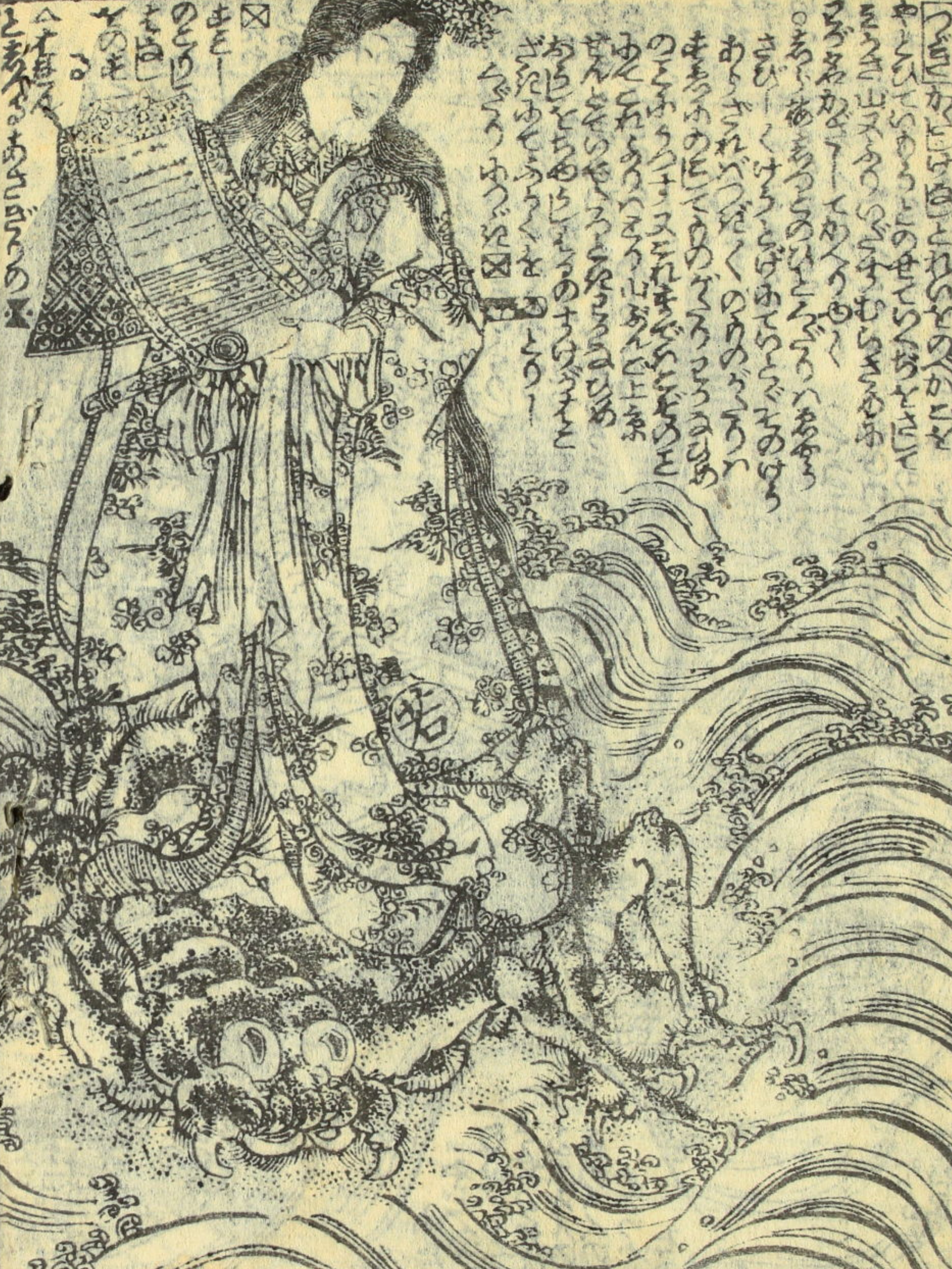


Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, arranged in vertical columns.



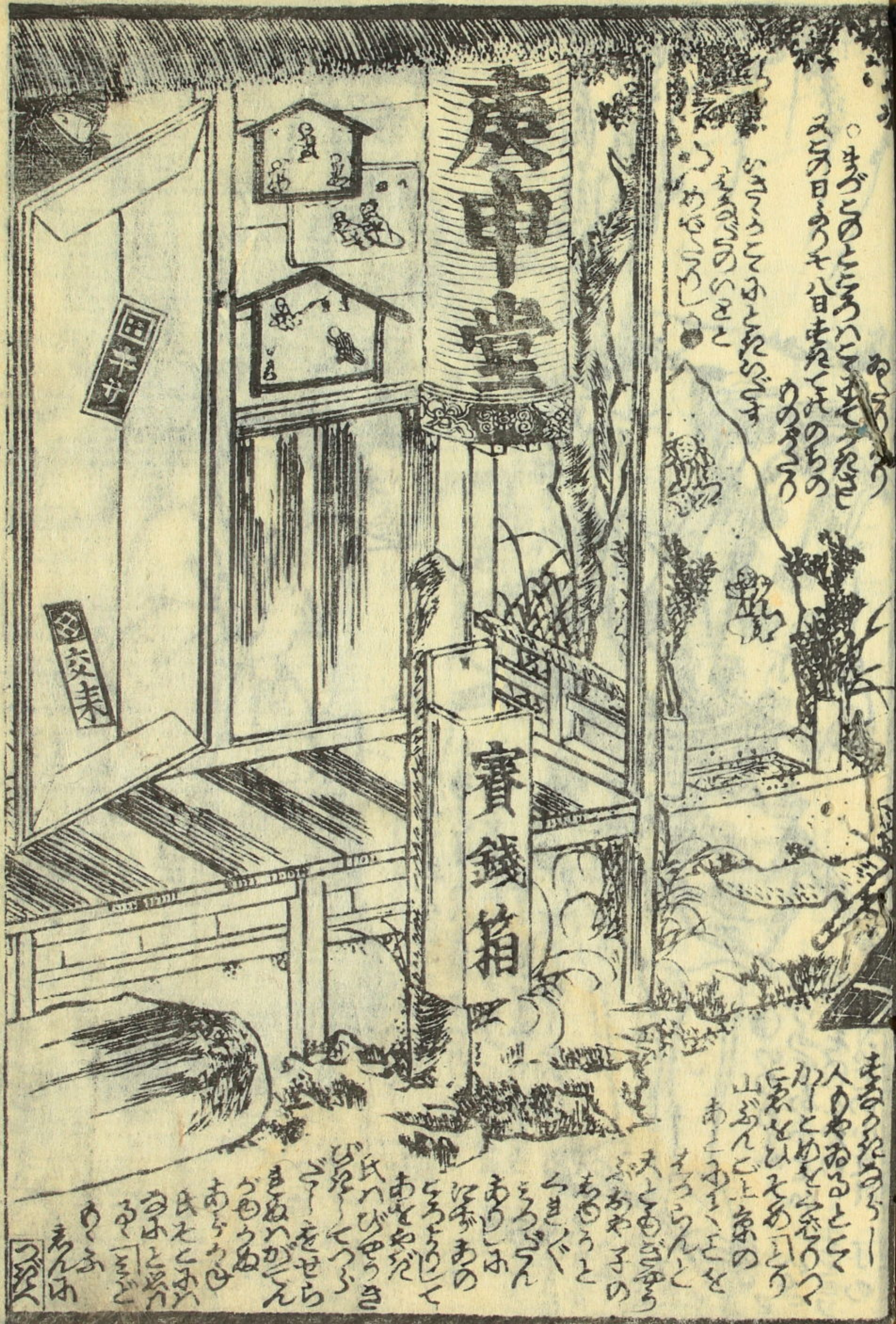
Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the top of the page.

Vertical text on the left margin of the left page.

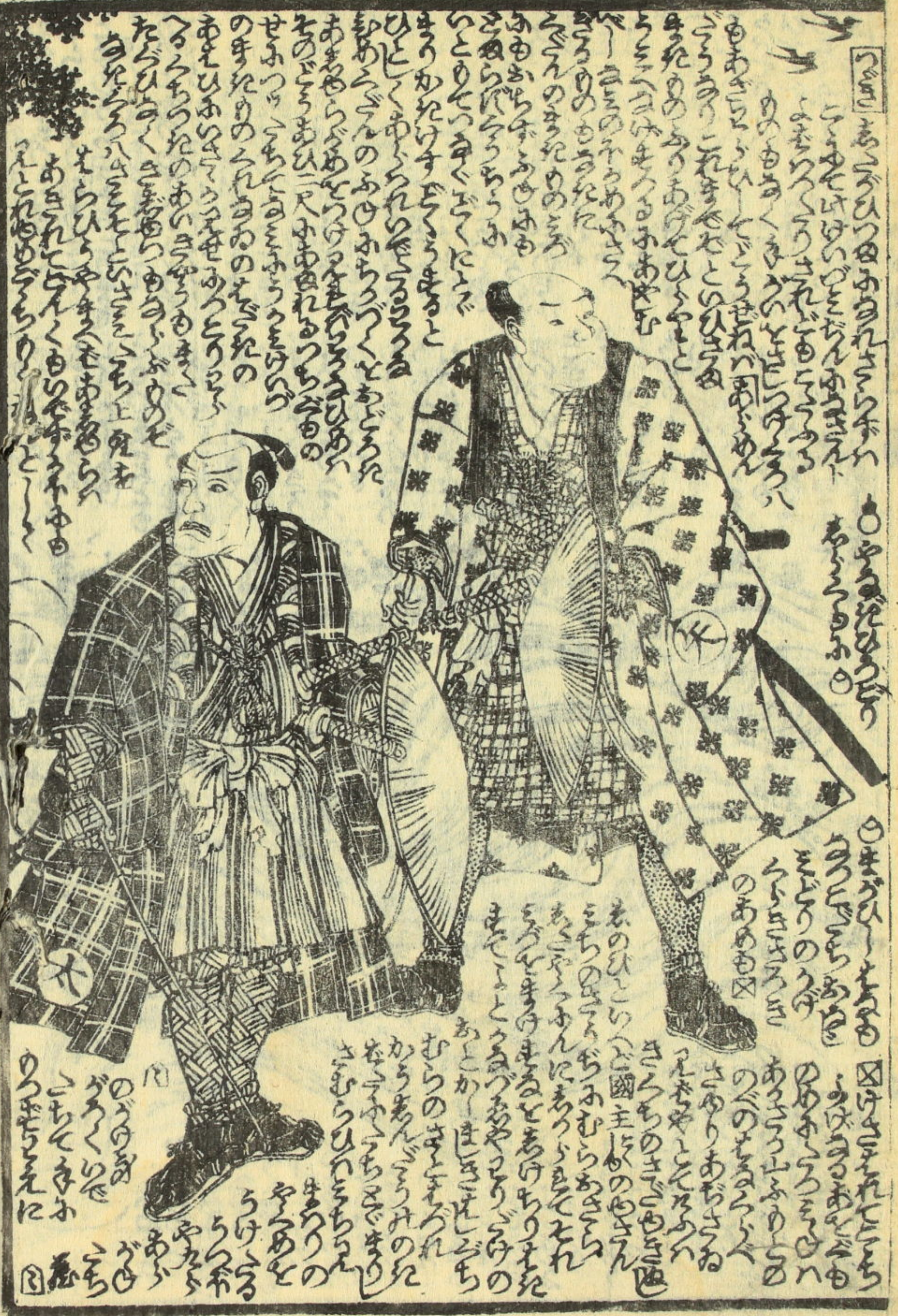


Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.



まなかちの  
 末中堂  
 交末  
 寶錢箱  
 鳥  
 庭  
 門  
 石



二人の  
 話  
 文  
 字  
 記  
 録







柳下亭種員遺稿  
梅蝶樓國貞圖



之章四郎  
若菜姫

志、怒心傳

四十五編 柳亭種彦作  
四十六編  
四十七編 一惠齋芳幾画

のふ、八、大、傳

廿八編 假名垣魯文録  
廿九編  
三十編 朝霞樓芳幾画

柳春秋色櫻

山、高、有、人、作  
一惠齋芳幾三

地本草紙問屋深川佐賀所廣岡屋幸助版

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百





